

# 『集団療育における利用者の行動変容に向けた取り組み』 説明文書

## 1. 実施目的について

当院のデイサービスでは、重症心身障害児(者)に対して療育的な関わりをおこなう時間を設定し、利用者が楽しめる内容を工夫すると同時に、働きかけに対する反応がより拡大することを目的としてさまざまな取り組みをおこなっています。

その中でも、毎朝「朝の会」では、呼名、歌などの活動や一人一人とのやりとりを通して1日の始まりを感じ取っていただくようにしています。

今回、この朝の会の活動の中で、利用者一人一人がどのような働きかけ(視聴触嗅覚などの感覚や運動感覚など)に対して、どのような反応(表情、笑い、眼球の動き、身体の動きなど)が拡大していくのかを、深く観察し、評価をしながら進めていきたいと考えています。

## 2. 実施内容について

- ・H29年1月～H29年3月
- ・デイサービス利用者(4名)
- ・デイサービス利用時の朝の会(10:00～10:20)
- ・一人一人とのやりとりや呼名刺激に対し、「反応の評価表」を用いて4人の職員で評価します。
- ・1名の利用者については、働きかけに対して反応の読み取りが困難であるので、本人が働きかけを快または不快ととらえているのかの判断の手掛かりとするために、「唾液アミラーゼモニター」(ニプロ株)を用いて評価をおこない、より楽しめる療育内容を探求していきたいと考えています。
- ・「唾液アミラーゼモニター」はチップを舌下に30秒間当てて唾液を採取し、活動前後のストレス値で評価します。

## 3. 研究代表者

池島守(医王病院 療育指導室長)

## 4. 個人情報およびプライバシーの保護について

それぞれの患者さまの個人情報は、個人が特定できないデータに変換された上で、データファイルが作成、保存、分析されます。

この研究の成果は、個人が特定できないデータとして、学術的な場でのみ公表します。

## 5. ご家族への本研究の結果の説明について

ご家族に文書あるいは口頭でお知らせすることができます。

6. 本研究への参加は任意ですので、参加を拒否されましてもご家族が不利益を被ったりすることはありません。

7. この研究にかかる資金は、医王病院臨床研究費を用います。

8. 将来的に本研究の成果が知的財産を生むようなことがあった場合にも、その権利は対象となられた患者さまやご家族には帰属しませんし、利益や負担もありません。

## 9. 本研究に関するお問い合わせ

その他、この研究についてご質問がある場合には、下記までお問い合わせください。

医王病院 療育指導室長 池島 守

別紙 2

説明日

平成 年 月 日

説明者

\_\_\_\_\_